

# 在日コリアン世代による 韓国ドラマ視聴形態に関する研究

金慇智

## 1. はじめに

本稿では、在日コリアンを対象に韓国ドラマの視聴形態を検討し、韓国ドラマの視聴動機と視聴後の明らかにすることで、在日コリアンが韓国ドラマを視聴することの意味について考察することを目的とする。

在日コリアンとは、朝鮮半島の植民地支配以降、歴史的な特殊性を持って、日本に渡った人々を指す。彼らは、在日コリアンに対する差別から逃れるため、多くの人が通名を名乗り民族的出自を隠している(福岡,1991,1993)。福岡は、こういった傾向は、世代によってことなり、特に在日コリアンの若い世代であるほど強く、彼らを中心に日本社会への同化志向が進んでいると述べた。

しかし、韓流の流行後、「在日」として生きることに対するプライドを自覚し、自分の民族的出自をカミングアウトする人がいるという報告がある(朝日新聞,2006,中央日報,2009)。

さらに、近年自国発信の放送コンテンツの利用が移民のアイデンティティを高揚する効果があることが示された。Siew-Peng,L.(2001)は、1950～1980年代英国に移民した香港人たちは香港の衛生放送を視聴することで、自分が香港に所属していることを意識する傾向が強くなったと述べている。また、Shim(2006)は、シンガポールに在住している韓国人女性の韓国ドラマの視聴は、彼女らの移民生活に少しずつ活力を与えると同時に、民族アイデンティティを再形成する役割を果たしたと報告した。これらの研究は、移民における自民族発信のコンテンツの利用であり、在日コリアンの場合、移民とは異なる植民地支配下での日本への航渡という歴史的な特殊性を持つため、同じカテゴリーと見なすことはできないだろう。本稿は、在日コリアンにおいて、韓国ドラマの視聴は何を意味するのかを明らかにすることに焦点を絞る。

ここでは、在日コリアンの韓国ドラマ視聴形態や視聴後の変化について、日本人の韓国ドラマ視聴に関する分析結果を踏まえた上で考察する。これまで日本における韓国ドラマの視聴に関する研究は、主に日本人受容者研究がなされてきた。例えば、韓流の火付け役となったドラマ『冬のソナタ』を視聴した後、韓国を訪問したり、他の韓国ドラマや映画を見たり、韓国の歴史や政治への関心を持ったりするなど、消費生活や余暇時間の過ごし方などの変化をもたらしていることが明らかになった(金 2004)。特に、『冬のソナタ』の視聴は、韓国に対する心理的距離を縮小させ、韓国のイメー

ジを改善させたという結果が出されている(長谷川 2007)。これらの結果は、日本人による韓国ドラマの視聴は、これまで近くとも未知の世界であった韓国という国への関心を持たせ、韓国の文化がより肯定的に受容できるようになったことを示している。

一方、在日コリアンは、日本生まれの日本育ちである2世以降の人が殆どであり、韓国語が話せず、日本語を母語として使って、日本の文化を内面化している人が多く、ほぼ日本人と同様の社会文化的背景を持つとも考えられる。特にその差は若い世代に行くほど大きい(福岡 1991)。そういうものの、韓国ドラマの視聴は、日本人においては異文化受容にあたるが、在日コリアンにおいては自国発信の文化受容にあたるため、日本人と在日コリアンにおいて異なる様相が見られると予想される。

本調査にあたって、日本人を対象にした調査項目からいくつか引用し調査票を作成したため、在日コリアンの韓国ドラマの受容形態について日本人に対する調査との比較を加えることは、文化受容研究を相互的に試みる上で重要な意義があると考えられる。

ここでは、在日コリアンの世代交代によって民族アイデンティティが薄くなりかねないそれぞれの世代を取り上げて、韓国ドラマの視聴形態について検証する。本稿においては、在日コリアンを1、2世と3、4世に分けて、彼らの韓国ドラマ視聴に関する考察を行う。日本社会を生きる在日コリアンを研究対象に、以下の研究課題3つを実証的調査を用いて分析することで韓国ドラマ視聴と在日コリアンの関係を証明する。

**研究課題：**

1. 在日コリアンの韓国ドラマの視聴形態(有無、頻度・時間、ツール、ジャンル)。
2. 在日コリアンの韓国ドラマの視聴動機。
3. 在日コリアンの韓国ドラマの視聴後の変化。

**2. 調査の概要及び分析方法**

**2-1 調査の概要**

本稿では、中部地域在住の在日コリアンを対象に、2010年9月17日から10月17日までの約1カ月間行った(有効票218票、回収率67%)。回答者の属性を表1に示す。

表1 回答者の属性

性別 (n=218)		国籍 (n=218)			世代 (n=216)				民族学校有無 (n=217)	
男性	女性	韓国	朝鮮	日本	1世	2世	3世	4世	有	無
33.0	67.0	71.6	3.2	25.2	3.2	49.1	46.3	1.4	26.7	73.3

(単位：%)

## 在日コリアンの世代による韓国ドラマ視聴形態に関する研究

まず、性別から見ると、男性が72人で33.0%、女性が146人で67.0%であった。本調査がドラマ視聴に関する質問紙調査であるため、韓国ドラマの視聴は著しく女性の方からの回答が多かったと推測される。国籍は、韓国籍が71.6%で一番多く、日本籍が25.2%、朝鮮籍が3.2%であった。帰化した在日コリアンを抽出することが困難であったため、韓国籍の回答者が多数を占めることになった。世代別でみると、1世が3.2%、2世が49.1%、3世が46.3%、4世が1.4%で2世が最も多いが、現在の在日コリアン社会の多数を占めている2世と3世の比率はほぼ同じである。また、民族学校に通った経験が「ある」と答えた人は回答者の26.7%、「ない」と答えた人は73.3%で、民族学校に通っていない人が通った人より3倍ほど多いことが分かる。

本稿では、在日コリアンを1、2世と3、4世に分けて韓国ドラマの視聴形態を考察するため、まず在日コリアンの世代別属性をより詳しく見ていく<sup>(1)</sup>。

表2 世代別属性

	1、2世	3、4世
性別	男性：31.0%、女性：69.0%	男性：35.6%、女性：64.4%
年齢	60歳	40歳
国籍	韓国：80.5%、朝鮮：2.7%、日本：16.8%	韓国：69.0%、朝鮮：4.0%、日本：27.0%
言語力	低：32.7%、中：49.6%、高：17.7%	低：63.4%、中：25.7%、高：10.9%
文化活動	行っている：75.2%、行っていない：24.8%	行っている：65.0%、行っていない：35.0%

表2は、回答者を1、2世と3、4世に分類し、属性を示したものである。まず、1、2世と3、4世は両方とも男女の比率において女性の方が過半数を越えていることが分かる。1、2世の平均年齢は60歳で、3、4世は40歳であり、国籍からみると、1、2世においては8割の人が韓国籍であるが、3、4世になると韓国籍の人は約7割である。その他、韓国語の会話能力や文化活動においても1、2世の方が3、4世より韓国式で行っている人が多いことが示された。この結果から、福岡(1991)が述べたように在日コリアンの若い世代に行くほど、日本への同化が進行していることが予想される。

### 2-2 質問紙の構成と尺度

- (1) デモグラフィック属性：性別、年齢、世代、国籍、民族学校に通った経験、職業など
- (2) 韓国語の会話能力項目：韓国語の会話能力を「0=全くできない」から「6=自由自在にできる」の7段階で測定
- (3) 韓国文化・習慣項目：韓国式の文化・習慣を行っているか否かを「韓国式」「日本式」「行っていない」「分からない」の4つの選択肢で測定
- (4) 韓国ドラマ視聴有無・頻度・時間項目：韓国ドラマ視聴有無は、「見ている」と「見

- ていない」の選択肢で提示、韓国ドラマ視聴頻度は、「月1回程度」から「毎日」の7段階で測定、視聴時間は、「1ヶ月の平均時間」を直接記入する方式で測定
- (5) 韓国ドラマ視聴ツール項目：地上波テレビを始めとする15個のツールを提示、複数回答可能で測定
- (6) 韓国ドラマ視聴ジャンル項目：よく見ている韓国ドラマジャンルを6個の選択肢で提示、複数回答可能で測定
- (7) 韓国ドラマ視聴動機項目：Rubin(1984)のテレビ視聴動機項目から引用・再作成した17項目を5段階で測定
- (8) 韓国ドラマ視聴後の変化項目：金(2004)や三矢(2004)から引用・再作成した14項目を5段階で測定

### 3. 研究結果

#### 3-1 研究課題1 在日コリアンの韓国ドラマの視聴形態はどうだろうか。

##### 韓国ドラマ視聴有無・頻度・時間

本調査においては、218票中、「あなたは、韓国制作のドラマをえていますか？(日韓共同制作も含む)」という質問に、対象者の89%(94人)が「見ている」と答えた。これを世代別に見ると、1、2世は92.9%(105人)、3、4世は86.1%(87人)が韓国ドラマを見ていた。

まず、韓国ドラマの視聴頻度からみていく。視聴頻度の世代別差を図った結果<sup>(2)</sup>、1、2世の方が3、4世より頻繁に韓国ドラマを見ていることが分かった(t値=4.05\*\*、表3参照)。さらに、視聴時間を図った結果、在日コリアンの韓国ドラマ視聴時間は1時間5分であったが、これを世代別に見ると、1、2世の場合、1時間30分であることに対し、3、4世は36分であり、3、4世より1、2世の方がより韓国ドラマを長く見ていることが分かった(t値=3.67\*\*)

表3 世代による韓国ドラマの視聴量

	1、2世	3、4世	t 値
韓国ドラマの視聴頻度 (1=月1回程度～7=ほぼ毎日)	16.5(n=105)	10.1(n=87)	4.05**
韓国ドラマの視聴時間 (5点尺度, 10項目)	89.5(n=105)	36.3(n=87)	3.67**

\* 数値は平均値

\* \*\*p<.01

これらの結果を見ると、3、4世より、年配の1、2世において韓国ドラマの量的視聴傾向が多いことから、日本人の韓国ドラマ視聴が40代～60代の中老年女性の間で多く見られていた(林, 2005)こととほぼ同様であることが示唆された。

## 韓国ドラマ視聴ツール

放送のデジタル化、インターネットのプロードバンド化による多チャンネル化の進展によって、放送を取り巻く環境に激変が起きている中、在日コリアンにおける多様なツールを用いた韓国ドラマの視聴傾向が見られている。本調査では、「次のうち、どの映像チャンネルを通じて、韓国ドラマを見ていますか」と質問し、その頻度を図1に示す。

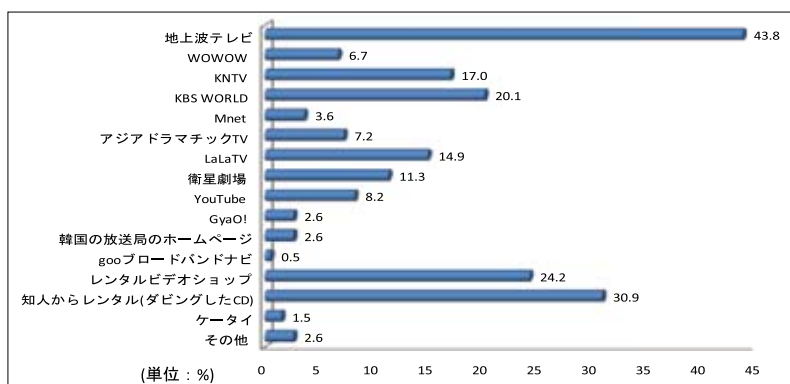


図1 韓国ドラマ視聴ツール

現在、韓国ドラマは、地上波テレビは無論、ケーブルテレビや衛星放送、インターネット、レンタルビデオショップなど多様な形で流通されていて、その数は数えられないほどであろう。中でも「地上波テレビ」が43.8%で最も多く、「知人からのレンタル(ダビングしたCD)」が30.9%、「レンタルビデオショップ」が24.2%、「KBS WORLD」が20.1%、「KNTV」が17.0%、「LaLaTV」が14.9%、「衛星劇場」が11.3%などの順であった(複数回答可)。

日本人視聴者の韓国ドラマ視聴においては、『冬のソナタ』を見てから「家族・友人に話した」という回答が多かった(金,2004、三矢,2004)。本調査においては韓国ドラマを「知人からレンタル(ダビングしたCD)」で見ている人が多く、韓国ドラマについてよく知人と話していることが予想される。

ほかにも、「KBS WORLD」や「KNTV」「LaLaTV」「衛星劇場」など、様々なチャンネルを受信して韓国ドラマを見ていることが分かる。イ(2008)は、多くの在日コリアンの家庭では、韓国衛星放送を受信しており、家族視聴が主に行われるリビングのテレビは常に韓国衛星放送に固定されていると述べている。特に韓国衛星放送を受信すると、韓国関連情報(ドラマ、バラエティ、ドキュメンタリー、ニュース)が24時間ずっと見られる。こういった衛星放送の受信は、在日コリアンをまるで祖国で暮らしているかのような気分させることを可能にするかもしれない。放送環境の変化とともに韓国ドラマの需要が高まることによって、在日コリアンは自国発信の文化に自由に接することができるようになった。

### 韓国ドラマ視聴ジャンル

日本では「純愛」や「主人公の紳士的なふるまい」が描かれている『冬のソナタ』のような恋愛ドラマが人気を得ている(林 2005)。イ(2008)は、在日コリアンは日本人女性とは異なり、時代劇やドキュメンタリーを好むと指摘した。

本調査においても、在日コリアンの最も見ている韓国ドラマジャンルとして「大河ドラマ(65.4%)」が挙げられた(図2参照)。その次が「恋愛ドラマ」で62.7%の僅少な差を示した。

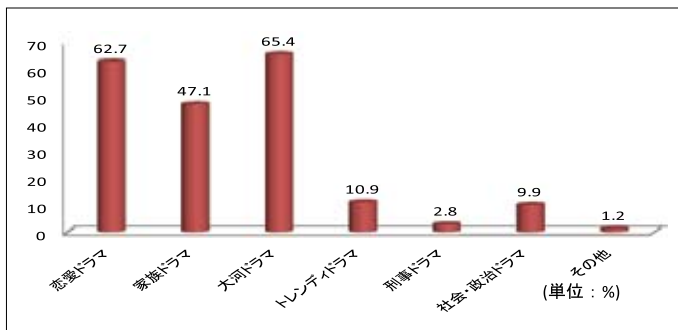


図2 在日コリアンの韓国ドラマ視聴ジャンル

これを世代別にみるため、1、2世と3、4世に分けてよく見ているジャンルを図った(図3参照)。

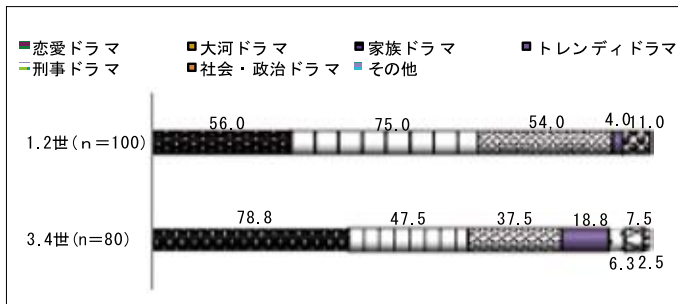


図3 世代別韓国ドラマ視聴ジャンル

結果、1、2世においては大河ドラマが75.0%で最も多く見られていて、次が恋愛ドラマ(56.0%)、家族ドラマ(54.0%)などの順であった。一方、3、4世においては恋愛ドラマが78.8%で最も多く見られており、大河ドラマ(47.5%)、家族ドラマ(37.5%)などの順であった。つまり、1、2世の場合は、「大河ドラマ」の視聴傾向が最も多く、3、4世の場合は、「恋愛ドラマ」の視聴傾向が最も多いことを意味する。

### 3-2 研究課題 2 在日コリアンの韓国ドラマ視聴動機。

在日コリアンはなぜ韓国ドラマを視聴するのだろうか。本稿では、「あなたが韓国ドラマを見る理由について教えてください」と質問し、17項目それぞれにおいて1＝「全く当てはまらない」から5＝「よく当てはまる」までの5段階選択式回答を行わせた。

ここでは世代別、韓国ドラマの視聴動機の差を詳しく探るため、すべての視聴動機項目から頻度が最も高い項目を1、2世と3、4世の各世代別に分けて5つずつ取り上げる(図4参照)。

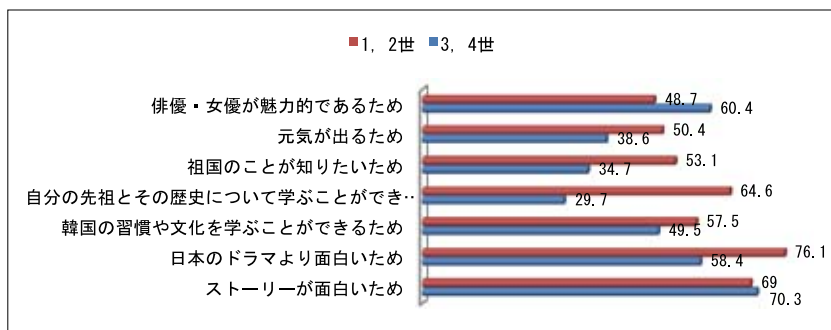


図4 在日コリアンの韓国ドラマの視聴動機の記述統計<sup>(3)</sup>

図4を見ると、1、2世と3、4世とも「ストーリーが面白いため」(1、2世:69.0%、3、4世70.3%)、「日本のドラマより面白いため」(1、2世:76.1%、3、4世58.4%)、「俳優・女優が魅力的であるため」(1、2世:48.7%、3、4世60.4%)の頻度が高い。これは在日コリアンの韓国ドラマの視聴目的はストーリーや俳優が魅力的であるためと答えた日本人視聴者を対象にした分析結果(金,2004)と同様であると言えよう。

しかし、1、2世においては「自分の祖国とその歴史について学ぶことができるため」「祖国のことが知りたいため」など、祖国のことを学ぼうとする項目が次に高く、民族的学習を重視した視聴傾向が窺える。一方、3、4世の場合、韓国ドラマのストーリーやドラマの俳優・女優を重視して韓国ドラマを見ている傾向が強いことが明らかである。

次に、韓国ドラマの視聴動機を問う質問17項目に対し因子分析<sup>(4)</sup>を行った結果、4つの因子が抽出された。以下の表4は、視聴項目の内容及び結果を示したものである(バリマックス回転後、固有値1以上)。

表4 在日コリアンの韓国ドラマの視聴動機(因子分析)

項目	民族的学習	気晴らし	娯楽	刺激・興奮
自分の祖国とその歴史について学ぶことができるため	.901	.053	.063	.041
祖国のことが知りたいため	.860	.105	-.009	.110
韓国の習慣や文化を学ぶことができるため	.824	.084	.174	.187
韓国の現代社会を知りたいため	.749	.239	.155	.182
自分自身のあり方を考えられるため	.739	.317	.217	.072
祖国のことが恋しいため	.593	.374	-.130	.179
現実から逃れるため	.113	.818	.057	.057
寂しさを紛らわせるため	.181	.807	-.120	.100
気分転換のため	.188	.644	.243	-.069
リラックスできるため	.167	.540	.214	.366
友人・知人と一緒に見るため	.137	.595	.084	.254
暇つぶし	.086	.470	.351	-.459
友人・知人との話題を提供してくれるから	.334	.481	.213	.476
ストーリーが面白いため	.055	.044	.846	.119
日本のドラマより面白いため	.159	.153	.809	.148
俳優・女優が魅力的であるため	.228	.147	.183	.706
元気が出るから	.453	.354	.268	.544
固有値	6.565	1.964	1.481	1.035
寄与率(%)	24.834	19.545	11.156	9.439

まず、第1因子は「祖国とその歴史について学ぶことができるため」「祖国のことが知りたいため」「韓国の習慣や文化を学ぶことができるため」「韓国の現代社会を知りたいため」などの項目において因子負荷量が高い。これらの項目を具体的にみると、自分の民族に関して学ぼうとする目的なので、「民族的学習」と命名した。第2因子は、「現実から逃れるため」「寂しさを紛らわせるため」「気分転換のため」「リラックスできるため」などの項目において負荷量が高かった。これらの項目は、特別な目的なしに、ただの時間潰しのための目的であり、「気晴らし」と命名した。第3因子は、「ストーリーが面白いため」「日本のドラマより面白いため」のドラマ自体の面白さが目的であり、「娯楽」と命名した。第4因子は、「俳優・女優が魅力的であるため」「元気が出るから」で、刺激的な項目であり、「刺激・興奮」と命名した。

抽出された4つの各因子を元に、在日コリアンの世代による韓国ドラマの視聴動機の差を検証したものを表5に示す。表5を見ると分かるように、1、2世が3、4世より「民族的学習」において有意に高いことが示された。つまり、1、2世の方が3、4



在日コリアンの世代による韓国ドラマ視聴形態に関する研究

世より祖国の歴史や文化を知るために韓国ドラマを視聴する傾向があることが明らかになった。

表5 世代による韓国ドラマ視聴動機

視聴動機	世代別		
	1、2世	3、4世	t
民族的学習	20.3(n=103)	17.6(n=86)	3.1**
気晴らし	19.3(n=100)	18.1(n=85)	1.5
娯楽	8.4(n=103)	8.2(n=87)	0.6
刺激・興奮	7.1(n=101)	7.1(n=87)	0.03

\* 数値は平均値

\*\* p<.01

3-3 研究課題3 在日コリアンの韓国ドラマを見た後の変化<sup>(6)</sup>。

在日コリアンの韓国ドラマ視聴後の変化はどういった様相を見せているだろうか。本稿では、「あなたは、韓国ドラマを見て、韓国に対する態度が変わりましたか?」と質問し、14項目それぞれにおいて1 = 「全く当てはまらない」から5 = 「よく当てはまる」までの5段階選択式回答を行わせた。

ここでは世代別、韓国ドラマの視聴後の変化の差を詳しく探るため、すべての視聴動機項目から頻度が最も高い項目を1、2世と3、4世の各世代別に分けて5つずつ取り上げる(図5参照)。

1、2世において最も頻度が高い項目は「韓国の歴史的なところを訪問したくなった」が81.4%であった。次に「日韓の政治・歴史に関する報道に注目するようになった」(75.7%)、「韓国の歴史に関心を持つようになった」(74.3%)などの順であった。

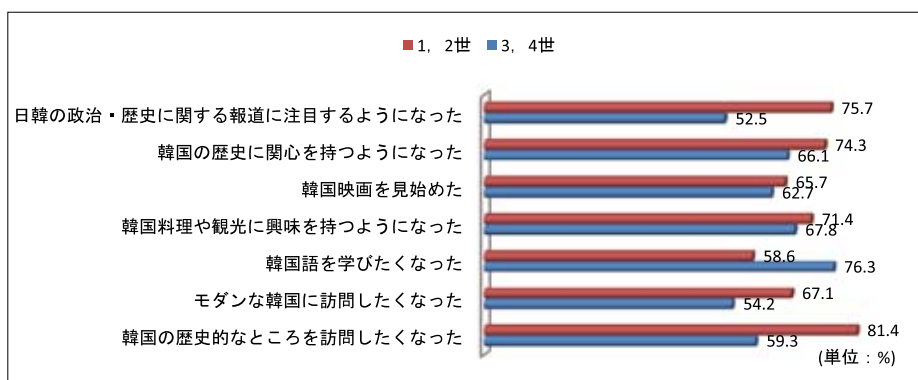


図5 在日コリアンの韓国ドラマ視聴後の変化<sup>(5)</sup>

一方、3、4世の場合、「韓国語を学びたくなった」が76.3%で最も多く、「韓国料理や観光に興味を持つようになった」(67.8%)、「韓国の歴史に関心を持つようになった」(66.1%)「韓国の歴史的なところを訪問したくなった」(59.3%)などの順であった。この結果からみると、在日コリアンの韓国ドラマ視聴後の変化は、世代によって異なる傾向を見せている。1、2世は韓国ドラマを見ることで祖国の歴史に関する意識の変化が表立つことが窺える一方、3、4世は歴史への関心の変化も挙げられるが、韓国語や旅行、文化などにより関心を持つことが窺える。しかし、日本人を対象にした調査では、韓国文化接触の質問において「韓国の歴史を調べた」という深いところまで韓国を知ろうとする人は極めて少なかった(三矢2004)。

次に、韓国ドラマの視聴後、態度の変化を問う質問14各項目の因子分析を行った結果、4つの因子が抽出された。表6は、視聴項目の内容及び結果を示したものである(バリマックス回転後、固有値1以上)。

表6 韓国ドラマ視聴後、態度の変化(因子分析)

項目	生活・ネットワークの変化	韓国への関心の変化	韓国体験への希望	民族アイデンティティの向上
韓国のファッションをまねしたくなった(まねしている)	.793	.135	.203	.107
韓国ドラマファンの新しい友人ができた	.781	.252	.010	.072
人生の新たな目標を持つようになった	.753	.302	.100	.130
韓国に関する本や雑誌を買うようになった(買った)	.587	.131	.425	.272
韓国の歴史に関心を持つようになった	.209	.799	.245	.227
日韓の政治・歴史に関する報道に注目するようになった	.117	.798	.305	.237
韓国料理や観光に興味を持つようになった	.245	.767	.206	.058
韓国映画などを見始めた	.438	.690	.122	.083
韓国の歴史的なところを訪問したくなった(訪問した)	-.068	.408	.779	.077
モダンな韓国に訪問したくなった(訪問した)	.116	.201	.741	.248
韓国語を学びたくなった(学んでいる)	.368	.198	.720	-.093
韓国の文化を学ぶ教室(料理,書道)に通いたくなった(通っている)	.530	.100	.577	.179
自分が韓国人であることを意識するようになった	.211	.147	.085	.908
自分が韓国人であることに対して誇りに思うようになった	.159	.223	.150	.892
固有値	6.57	1.96	1.48	1.04
寄与率(%)	38.62	11.56	8.71	6.09

## 在日コリアンの世代による韓国ドラマ視聴形態に関する研究

まず、第1因子は「韓国のファッションをまねしたくなった」「韓国ドラマファン  
の新しい友人ができた」「人生の新たな目標を持つようになった」などの項目の因子  
負荷量が高い。これらの項目は、生活面において韓国に関連するものによく接してい  
ることを示しているため、「生活・ネットワークの変化」と命名した。第2因子は、「韓  
国の歴史に関心を持つようになった」「日韓の政治・歴史に関する報道に注目するよ  
うになった」「韓国料理や観光に興味を持つようになった」などの項目において因子  
負荷量が高く、祖国の歴史や文化などに興味を持ち始めていることから「韓国への関  
心の変化」と命名した。第3因子は、「韓国の歴史的なところを訪問したくなった(訪  
問した)」「モダンな韓国に訪問したくなった(訪問した)」「韓国語を学びたくなった  
(学んでいる)」などの項目において因子負荷量が高い。これらの項目は、韓国に行っ  
たり、言語や文化を学んだりしたいという希望を表しているため、「韓国体験への希望  
」と命名した。第4因子は、「自分が韓国人であることを意識するようになった」「自分  
が韓国人であることに対して誇りに思うようになった」の項目において負荷量が高く、  
これは自民族に対する意識の変化を示しているため、「民族アイデンティティの向上」  
と命名した。

抽出された4つの各因子を元に、在日コリアン世代による韓国ドラマ視聴後の変化  
の差を検証したものを表7に示す。

表7 世代別韓国ドラマの視聴後の変化

視聴動機	世代別		
	1、2世	3、4世	t値
生活・ネットワークへの変化	11.0(n=68)	11.6(n=59)	-0.7
韓国への関心の変化	15.9(n=69)	14.3(n=59)	2.4*
韓国体験への希望	14.5(n=70)	14.4(n=59)	0.2
民族アイデンティティの向上	7.3(n=70)	6.3(n=59)	2.4*

\* 数値は平均値

\* \*p<.05

表7を見ると分かるように、抽出された4つの韓国ドラマ視聴後の変化のうち、1、  
2世が3、4世より「韓国への関心の変化」と「民族アイデンティティの向上」が有意  
に高いことが示された。韓国ドラマを視聴することによって1、2世の方が3、4世よ  
り「韓国への関心」つまり、韓国の歴史に関する関心が増すとともに、自分の民族ア  
イデンティティを再構築する傾向があることが明らかになった。

## おわりに、

本稿は、在日コリアン世代による韓国ドラマの視聴形態の実態を検討し、彼らの韓国ドラマ視聴が持つ意味について実証的調査を用いて明らかにしたものである。

これまで、日本での韓国ドラマ視聴に関する調査は、恋愛ドラマの視聴に関するものが多く、そういった韓国ドラマの視聴は、韓国人や韓国という国の従来のイメージを変化させ、韓国をより身近な国として関心を持たせることに繋がったことを示している。

一方、在日コリアンの韓国ドラマ視聴は、祖国に対する関心をより持たせてはいるが、日本人とは少し異なる予想を見せており、世代によって異なる様相を呈している。

分析結果をみると、在日コリアンの1、2世は3、4世より、韓国ドラマをより視聴していて、ことに韓国の歴史物を描いている「大河ドラマ」への視聴率が最も多かった。

また、1、2世は韓国ドラマを祖国の歴史や文化を学ぼうとする「民族的学習」のために視聴していることが3、4世より有意に高く、韓国ドラマを視聴した後、祖国の歴史への関心が増すことが示された。さらに、韓国ドラマの視聴によって、1、2世は3、4世より民族アイデンティティが有意に高くなることが明らかになった。1、2世の場合、韓国の歴史を描いている大河ドラマへの視聴傾向が高く、視聴動機においても民族的な学習ツールとみなしている傾向が高かったことから、彼らにとって韓国ドラマは単なる娯楽的なコンテンツではないだろうと考えられる。はっきりとしていない祖国の歴史を学習しつつ、自分の民族的出自を改めて確かめることで、より韓国への関心が増し、民族アイデンティティが高まるようになると解釈できよう。

しかし、3、4世においては、恋愛ドラマを最も見ていることや韓国ドラマの面白さ、俳優・女優が魅力的であるために韓国ドラマを見ている傾向が示され、日本人の韓国ドラマ視聴傾向とほぼ類似している傾向が見られた。

現在の在日コリアンは、日本生まれ日本育ちである2世以降の人が多数を占めているが、1、2世の場合、比較的3、4世より祖国に対する情報が多く、民族アイデンティティが高い傾向がある。つまり、ある程度自分の出自について自覚している1、2世において韓国ドラマは、自国発信のコンテンツであり、民族的学習のツールとして積極的に受容されている。それに対して、比較的自分の出自について自覚していない3、4世においては、同様の結果が示されなかったと予想される。しかし、前述したように韓国ドラマの視聴というのは、日本人においては明らかに異文化の受容であるが、在日コリアンにおいては自国文化の受容となる。3、4世の韓国ドラマの視聴後の変化は1、2世に比べると微弱な程度に過ぎないが、その変化における特性は日本人のそれとは異なるだろう。

韓国ドラマを民族的学習のツールとして積極的に受容している1、2世に対し、3、4世の場合、同様の結果は示されなかったが、両世代において韓国ドラマを見てから

祖国の歴史への関心が増すことは同様の結果となった。

これまで、日本における韓流研究の中で在日コリアンを取り上げる研究は稀であった。しかし、本稿で、実証的調査を用いて在日コリアンの韓国ドラマ視聴形態を示すと同時に、世代別に考察することで、民族アイデンティティが異なる在日コリアン社会の問題点を自国発信のメディア利用と関連させて考えることへの可能性を示唆したと考えられる。

## 引用文献

- イ・ヒャンジン (2008). 『韓流の社会学－ファンダム、家族、異文化交流』 岩波書店.
- 小川玲子 (2007). 「韓流をめぐる関係性の変化：日本人、韓国人、在日コリアン」 東国大学日本学研究所紀要『日本学』、第 26 号、67-77.
- 金相美 (2004). 「日本における『冬のソナタ』視聴と効用－韓国に対するイメージ・関心・評価向上を中心に」 2003 年 12 月 4 日ソウル大学言論情報研究所主催 ソウル大学・東京大学合同シンポジウム・プレゼンテーション.
- 長谷川典子 (2007). 「韓国製テレビドラマ視聴による態度変容の研究－異文化間教育の視点から」 『異文化間教育』 25、58-73.
- 林香里 (2005). 「『冬ソナ』にハマった私たち 純愛、涙、マスコミ……そして韓国』 文藝春秋.
- Shim(2006). Korean Women Television Viewers in Singapore. Cultural Space and Public Sphere in Asia 2006, Seoul, Korea.
- Siew-Peng, L. (2001). Satellite TV and Chinese migrants in Britain. In N. Wood & R. King (Eds.), *Media and Migration: Constructions of Mobility and Difference*, London: Routledge. pp.143-157.
- 福岡安則 (1991). 『同化と異化のはざまで－在日若者世代のアイデンティティ葛藤』 新幹社.
- 福岡安則 (1993). 『在日韓国・朝鮮人 若い世代のアイデンティティ』 中公新書.
- 三矢恵子 (2004). 「世論調査からみた「冬ソナ」現象－「冬のソナタ」に関する世論調査から」 『放送研究と調査』 12、12-25.
- Rubin, A. M. (1984). Ritualized and instrumental television viewing. *Journal of Communication*, 34(3),67~77.

## 新聞記事

「朝日新聞」2006 年 1 月 16 日

「中央日報 (韓国)」2009 年 4 月 22 日

## 注釈

- (1) 在日コリアン1世の場合、日本への恨みと祖国への望郷の念を抱きつつ生きてきた世代であり、2世は差別と貧困の経験にもめげず、必死に日本社会で生活基盤を築いてきた世代である。一方、3、4世になるほど通名を名乗り、さほど問題なく、日本社会への適応を果たしている世代であるため、世代別に民族アイデンティティは著しく異なる。さらに、本調査の回答者は、1世が3.2%、2世が49.1%、3世が46.3%、4世が1.4%で、1世と4世は極めて少なく、各世代別比較は難しい。したがって、民族意識が比較的に近いと考えられる1、2世と3、4世を分けて分析を行った。
- (2) t検定  
2つの集団の平均に意味のある差があるのかどうかの検定である。2つの平均の差を図るt検定の結果を表すのがt値(絶対値)で、それが大きくなればなるほど「2平均の差がないことはない」確率、すなわち「2平均に差があるといえそうな」確率が高くなり、有意差があるといえる。
- (3) 韓国ドラマの視聴動機を問う17項目の「4少し当てはまる」あるいは「5よく当てはまる」を選んだ人の比率である。
- (4) 因子分析  
因子分析はデータを要約するために用いる手法であり、変数間の相関関係から潜在的ないくつかの共通因子を発見・抽出し、データ(変数群)を潜在因子に分解する方法である。各因子の固有値の割合を「寄与率」と呼び、因子の説明力を表すと言ってよい。また、「因子負荷量」は因子と変数との相関係数を意味するため、因子負荷量の大きい変数に共通する性質の解釈を行い、それぞれの因子に命名する。
- (5) 韓国ドラマの視聴後の変化を問う14項目の「4少し当てはまる」あるいは「5よく当てはまる」を選んだ人の比率である。
- (6) 韓国ドラマの視聴後、韓国に対する関心の変化があったと答えた131人(「変化無し」と「関心が減った」と答えた62人を除いた)のみを取り上げて、分析を行った。